

「第3回アドバイザー会議」における補足説明(再質疑)

調書番号: 9 事業名: 中小企業労働施策アドバイザー設置事業費

補足説明

説明者職・氏名	説明内容
課長・上野 睦	<p>国の働き方改革が進められており、現在、同一賃金同一労働、最低賃金の引き上げ等の検討が進められている。一方で、これらの改革の推進のためには、中小企業の支援が必要とされており、国においては、今年度の補正予算や来年度の概算要求において、中小企業における生産性向上、賃金向上、勤務体制の改善などに対して、様々な助成策を打ち出している。</p> <p>また、あわせて、地方の働き方改革の推進のためには、各企業に出向いてアドバイスを行うアウトリーチ支援が有効な施策であるとして、アドバイザー育成のために、今年度、研修カリキュラムや教材を作成しているところである。</p> <p>こうした意味から本事業の重要性は増しているものと考えており、国で作成している研修材料を活用して、中小企業労働施策アドバイザーのレベルアップを図り、中小企業に対する様々な支援策を有効に活用できるような職場改善プランを提案していくことにより、県内中小企業の働きやすい職場づくりを促進して参りたいと考えている。</p>

再質疑

アドバイザー	質問内容	回答者職・氏名	回答内容
小口アドバイザー 五味アドバイザー 諸平アドバイザー	なし		

「第3回アドバイザー会議」における評価区分及び評価内容

調書番号: 9 事業名: 中小企業労働施策アドバイザー設置事業費

アドバイザー	評価区分	評価内容
諸平アドバイザー	「要改善」	<p>今後法改正が見込まれるとなると、より専門性の高いアドバイスをする人が必要になってくるので、企業側から相談をしたいという予約などが増えてくる可能性がある。中小企業労働相談所事業との関わりなども含め、いろいろな可能性が出てくると考えられるので、大きな目線で検討して頂きたい。</p>
小口アドバイザー	「要改善」	<p>労働関係で活用を進めたい施策や法律も相当目まぐるしく変わっており、企業に伝えたい情報は非常に多いと思うので、事業の必要性は高いと考える。今後は、訪問による成果をどのように上げていくかに向けての見直しが必要と考える。</p> <p>現在、年間400件という非常に多くの訪問実績がある訳だが、大切なのは訪問企業にとって必要な情報が伝わったかという「有効訪問」を高めていくというようなことだろうと思う。この「有効訪問」をいかに増やすかという観点での見直しが必要であるとする。</p> <p>具体的には、訪問企業の選定の時に、もう少し時間をかけて選んでいく必要があると感じている。現在、中小企業団体中央会(労改連)と連携しているとのことであるが、それ以外に各種商工団体やいろんな組合の中から、ニーズがあると思われる企業を選定・発掘すること、これに力と時間をかけて頂きたい。</p> <p>それと同時に、訪問結果報告書を充実させるとか、訪問先企業からアンケートを頂くとか、そういうことも絡めながら訪問の質を上げるということで、この事業の成果向上に努めて頂きたい。</p>
五味アドバイザー	「要改善」	<p>中小企業における労働環境改善のため、各種情報を提供して広報を行うことは大変大切なことだと考える。しかしながら、訪問して資料を渡すだけではなかなか啓発には結び付かない。(第2回アドバイザー会議において)訪問の結果報告がどのような形でなされているのかという質問に対し、定型フォームの提示がなかったので分からない部分もあるが、年間400件を超える訪問実績を活動実績とせず、ターゲットを絞り、アドバイスを提供できる関係が構築できる訪問を成果と考えるべきではないか。</p> <p>今後、更に多様な働き方など、アドバイスを求める企業は増加すると思われる。活動の内容を検証しながら事業を実施して頂きたい。</p>